

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●戸崎圭太騎手がJRA年間100勝を達成

7月9日(土)の2回福島3日・第3レースではサングラスポテトが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、4年連続4回目となるJRA年間100勝を達成しました。7月9日でのJRA年間100勝達成は史上5番目の早さとなります。

●幸英明騎手が史上最速でJRA通算1万7000回騎乗を達成

7月9日(土)の3回中京3日・第9レースとしておこなわれた茶臼山高原特別でエーティーサンダーに騎乗した幸英明騎手(栗東・フリー)は、史上8人目、現役では6人目となるJRA通算1万7000回騎乗を達成しました。デビューから22年4か月5日、40歳5か月28日での1万7000回騎乗達成は、これまでの武豊騎手の記録(デビューから24年11か月19日、42歳11か月5日)を超えるJRA史上最速・最年少記録となります。

●キングカメハメハ産駒通算勝利数がJRA史上単独5位に

7月9日(土)の2回函館1日・第9レースではカラクブアが1着となり、キングカメハメハ産駒のJRA通算勝利数が1410勝となりました。これはサクラバクシンオー産駒の1409勝を抜き、単独第5位となる記録です。

●セレクトセール2016開催

7月11日(月)と12日(火)、北海道苫小牧市のノーザンホースパークで「セレクトセール2016」(主催・一般社団法人日本競走馬協会)が開催されました。初日の1歳馬セッションではオーサムフェザーの2015(牡/父ディーブインパクト/母は米2歳牝馬チャンピオン/2億6000万円)を筆頭に14頭が1億円オーバーとなり、落札総額81億3060万円、落札率87.9%(上場247頭・落札217頭)を記録。2日目の当歳馬セッションではイルーシヴウエーヴの2016(牡/父ディーブインパクト/母は仏1000ギニー馬)とマルベンサの2016(牡/父ディーブインパクト/母はアルゼンチンG1馬/兄はサトノダイヤモンド)の2億8000万円など9頭が1億円以上で落札され、落札総額68億1150万円、落札率74.6%(上場232頭・落札173頭)。2日間トータルでは落札総額149億4210万円、1頭あたりの平均価格3831万円は過去最高の値となりました(金額はすべて税別)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●キョウエイギアがジャパンダートダービー(大井)を楽勝

ジャパンダートダービー(JpnI、3歳、7月13日、大井、2000^円)は、4～5番手を進んだ4番人気のキョウエイギア(戸崎圭太騎手、牡、父ディーブスカイ)が、逃げ粘る3番人気のケイティブレイブを残り200^mを切った辺りで捉えて4馬身引き離し楽勝。1番人気のゴールドドリームは3着、ダノンフェイスは5着、2番人気のストロングパローズは7着、ノーモアゲームは9着でした。

●函館2歳Sに2頭の北海道所属馬が登録

函館2歳S(GIII、7月24日、函館)には、北海道所属のJRA認定馬(上級認定競走1着馬)の栄冠賞馬バンドオンザラン(牡、父スズカコーズウェイ)、ピンクドッグウッド(牝、父サウスヴィグラス)が出走を予定しています。

●優勝スプリント(大井)はエイシンヒート【各地の主要3歳重賞】

優勝スプリント(6月28日、大井、1200^円)は、中団から追い上げた2番人気のエイシンヒート(牡、父ストリートセンス)がゴール寸前で差し切り勝ちを収めました。

●ソリタリーキングらが参戦、7月18日のマーキュリーC(盛岡)

マーキュリーC(JpnIII、7月18日、盛岡、2000^円)は、3年前の優勝馬ソリタリーキング、ストロングサウザー、マイネルバイカ、グランドシチー、昨年の覇者ユーロビート(大井)、マイネルバウンズの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●2015/16香港競馬閉幕～年度代表馬はワーザー

香港の2015/16年の競馬シーズンは15年9月6日に開幕し、16年7月10日をもって閉幕。馬券売上金は1061.4億香港^円(1香港^円13.3円換算で約1兆4116億^円)に達しました。これはレコードを記録した前年より1.7%減ですが、史上2位。年度代表馬はクイーンエリザベス2世C(G1)を圧勝したワーザー(NZ産、騾4歳、父タヴィストック)。他に最優秀中距離馬のタイトルも獲得。最優秀マイラーは香港クラシックマイルと香港クラシックC(いずれもローカルG1)を勝ったサンジュエラリー(豪産、騾4歳、父スニツェル)。最優秀スプリンターは香港スプリント(G1)優勝のベニアフォビア(愛産、騾5歳、父ダンディマン)。最優秀ステイヤーはチャンピオンズ&チャターC(G1)を勝ったブレイジングスピード(英産、騾7歳、父ディラントーマス)。首位騎手は2年連続でJ.モレイラ(ブラジル出身)。前年のレコード145勝を更新する168勝の大記録です。首位調教師は68勝のJ.サイズ(豪出身)で、8度目のタイトル獲得です。